

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科(医療事務・ドクターズクラスコース)	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	卒業研究Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (6) 時間(単位)
対 象 学 年	2年	学期及び曜時限	後期	教室名	第2合同校舎802
担 当 教 員	中川朱希子				
実務経験と その関連資格	<p>【実務経験】 医療法人春秋会西大阪病院にて、医療事務全般業務(受付・会計・レセプトコンピュータ入力・診療報酬請求明細書点検)その後大阪保健福祉専門学校にて専任教員にて接遇マナー、実習事前指導、介護保険請求、医事CP関係等多くの科目を担当する</p> <p>【資格】 医療秘書技能検定2級、医事コンピュータ2級、訪問介護員(ホームヘルパー2級)</p>				
《授業科目における学習内容》					
1～2年生で学んだ知識、技術を基盤として、医学・福祉領域の研究に参加する。研究成果は卒論発表会で発表し、卒業論文として纏める。研究をすることが医療職に必要なことを説明することが出来る。					
《成績評価の方法と基準》					
研究内容 50% 参加度 20% 論文 30%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
インターネット、各種論文検索など					
《授業外における学習方法》					
インターネット、各種論文検索など					
《履修に当たっての留意点》					
自ら考える能力を育てることが重要なことと考えていますので、研究は本人の自主性が無いと進みません。しかし、意欲的に取り組みばどんどん進みますし、そのような学生には積極的に協力して一緒に研究していきます。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標		特になし	特になし	
	各コマにおける授業予定	中間発表			
第2回	授業を通じての到達目標	違う視点からの考察	特になし	特になし	
	各コマにおける授業予定	質疑に対する再調査			
第3回	授業を通じての到達目標	違う視点からの考察	特になし	特になし	
	各コマにおける授業予定	質疑に対する再調査			
第4回	授業を通じての到達目標	違う視点からの考察	特になし	特になし	
	各コマにおける授業予定	質疑に対する再調査			
第5回	授業を通じての到達目標	資料・文献等の確認	特になし	特になし	
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	資料・文献等の確認	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第7回	授業を通じての到達目標	統計の有意差の確認	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第8回	授業を通じての到達目標	統計の有意差の確認	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第9回	授業を通じての到達目標	発表原稿の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第10回	授業を通じての到達目標	発表原稿の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第11回	授業を通じての到達目標	発表原稿の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第12回	授業を通じての到達目標	発表原稿の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第13回	授業を通じての到達目標	発表原稿の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第14回	授業を通じての到達目標	発表原稿の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第15回	授業を通じての到達目標	発表原稿の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科(医療事務・ドクターズクラークコース)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習	
科 目 名	卒業研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90	(6) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	第2合同校舎802	
担 当 教 員	中川朱希子	実務経験と その関連資格					
実務経験と その関連資格	<p>【実務経験】 医療法人春秋会西大阪病院にて、医療事務全般業務(受付・会計・レセプトコンピュータ入力・診療報酬請求明細書点検)その後大阪保健福祉専門学校にて専任教員にて接遇マナー、実習事前指導、介護保険請求、医事CP関係等多くの科目を担当する</p> <p>【資格】 医療秘書技能検定2級、医事コンピュータ2級、訪問介護員(ホームヘルパー2級)</p>						
《授業科目における学習内容》							
1～2年生で学んだ知識、技術を基盤として、医学・福祉領域の研究に参加する。研究成果は卒論発表会で発表し、卒業論文として纏める。研究をすることが医療職に必要なことを説明することが出来る。							
《成績評価の方法と基準》							
研究内容 50% 参加度 20% 論文 30%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
インターネット、各種論文検索など							
《授業外における学習方法》							
インターネット、各種論文検索など							
《履修に当たっての留意点》							
自ら考える能力を育てることが重要なことと考えていますので、研究は本人の自主性が無いと進みません。しかし、意欲的に取り組みばどんどん進みますし、そのような学生には積極的に協力して一緒に研究していきます。							
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第16回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成		特になし	特になし		
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備					
第17回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成		特になし	特になし		
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備					
第18回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成		特になし	特になし		
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備					
第19回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成		特になし	特になし		
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備					
第20回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成		特になし	特になし		
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第22回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第23回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第24回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第25回	授業を通じての到達目標	パワーポイントの作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第26回	授業を通じての到達目標	学内発表準備	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表に向けての準備		
第27回	授業を通じての到達目標		特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	学内発表		
第28回	授業を通じての到達目標	発表原稿の最終調整	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表準備		
第29回	授業を通じての到達目標	発表原稿の最終調整	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表準備		
第30回	授業を通じての到達目標	発表原稿の最終調整	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表準備		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科(医療事務・ドクターズクラスコース)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	卒業研究Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (6) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	第2合同校舎802
担 当 教 員	中川朱希子	実務経験と その関連資格				
実務経験と その関連資格	<p>【実務経験】 医療法人春秋会西大阪病院にて、医療事務全般業務(受付・会計・レセプトコンピュータ入力・診療報酬請求明細書点検)その後大阪保健福祉専門学校にて専任教員にて接遇マナー、実習事前指導、介護保険請求、医事CP関係等多くの科目を担当する</p> <p>【資格】 医療秘書技能検定2級、医事コンピュータ2級、訪問介護員(ホームヘルパー2級)</p>					
《授業科目における学習内容》						
1～2年生で学んだ知識、技術を基盤として、医学・福祉領域の研究に参加する。研究成果は卒論発表会で発表し、卒業論文として纏める。研究をすることが医療職に必要なことを説明することが出来る。						
《成績評価の方法と基準》						
研究内容 50% 参加度 20% 論文 30%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
インターネット、各種論文検索など						
《授業外における学習方法》						
インターネット、各種論文検索など						
《履修に当たっての留意点》						
自ら考える能力を育てることが重要なことと考えていますので、研究は本人の自主性がないと進みません。しかし、意欲的に取り組めばどんどん進みますし、そのような学生には積極的に協力して一緒に研究していきます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 31 回	授業を 通じての 到達目標	発表原稿の最終調整		特になし	特になし	
	各コマに おける 授業予定	卒業研究発表準備				
第 32 回	授業を 通じての 到達目標	発表原稿の最終調整		特になし	特になし	
	各コマに おける 授業予定	卒業研究発表準備				
第 33 回	授業を 通じての 到達目標	発表資料の最終調整		特になし	特になし	
	各コマに おける 授業予定	卒業研究発表準備				
第 34 回	授業を 通じての 到達目標	発表資料の最終調整		特になし	特になし	
	各コマに おける 授業予定	卒業研究発表準備				
第 35 回	授業を 通じての 到達目標					

35回	各コマにおける授業予定	卒業研究発表	特になし	特になし
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	授業を通じての到達目標	論文の大枠の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	論文作成		
第37回	授業を通じての到達目標	論文の大枠の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	論文作成		
第38回	授業を通じての到達目標	論文の大枠の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	論文作成		
第39回	授業を通じての到達目標	論文の大枠の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	論文作成		
第40回	授業を通じての到達目標	論文の中間添削を合格	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	論文作成		
第41回	授業を通じての到達目標	最終論文の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	論文作成		
第42回	授業を通じての到達目標	最終論文の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	論文作成		
第43回	授業を通じての到達目標	最終論文の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	論文作成		
第44回	授業を通じての到達目標	最終論文の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	論文作成		
第45回	授業を通じての到達目標	最終論文の作成	特になし	特になし
	各コマにおける授業予定	論文作成		